

一次募集
牝馬

13 エイシンカラットの19

関東入厩

菊沢隆徳厩舎 予定

父・エイシンヒカリ / 青毛 / 2019年2月15日生 / 生産・栄進牧場

募集口数	400口	総額	1,200万円	1口価格	30,000円
------	------	----	---------	------	---------



Family

母系

母 *エイシンカラット (12 Tale of Ekati) 米国産, わが国で1勝。本馬が初仔
 祖母 **エリーズ モーメント** Ellie's Moment (98 Kris S.) 北米6勝, Rare Treat H-L, ネクスト ムーヴH-G32着, レイディースH-G32着, WNBC S2着, コテイリオンH-G24着, シクステイ セイルズH-G34着。産駒
タイム アンド モーション Time and Motion (牝 Tapit) 北米5勝, クイーン エリザベス二世 チャレンジ カップS-G1, レイク プラシッドS-G2, Wonder AgainS-L, Memories of Silver S, ベルモント オークス招待S-G12着, ミス グリロス-G33着, ポウゲイS-G33着, モデステイH-G33着, ノーブル ダムゼル S-G34着
オーサム ベット Awesome Bet (牡 Awesome Again) 北米4勝, Barbaro S-L, スーパー ダービー-G22着。種牡馬
ライヴユアピーストラフ Liveyourbeastlife (牡 Ghostzapper) 北米2勝, ジム ダンデイス-G22着
モーメント イン ディクシー Moment in Dixie (牝 Dixieland Band) 北米3勝, ダブルドッグデアS-G32着, Serena's Song S-L2着, Summer Guest S2着, Jazzy S2着, Wintergreen S2着, ゴー フォー ワンドH-G33着, West Virginia Senate President's Cup S-L3着, Ladies H-L3着, Trevita S3着, コテイリオンS-G14着, エンデヴァーS-G34着, ターンバックジアラムH-G34着
 曾祖母 **ケリーズ デイ** Kelley's Day (77 Graustark) 北米5勝, ガゼルH-G23着。産駒
***ブライアンズタイム** Brian's Time: 北米5勝, フロリダ ダービー-G1, ベガス H-G1, ジム ダンデイス-G2。本邦2歳チャンピオンサイアー
フロラミラ Floramera: 北米4勝, ヴァージニアH-G33着。 **ボニー アンド クライド** Bonny and Clyde (チリ1000ギニー-G1), **オーシャン クウェスト** Ocean Quest (チリ1000ギニー-G1), **ヒラボクキング** (平安S-G3)の祖母, **フンド フィホ** Fondo Fijo (イルラング賞-G3), **ヒラボクラターシュ** (佐賀記念-JPN3)の曾祖母
 *コートネイズデイ Courtney's Day: 北米入着。 **クリールパッション** (エルムS-G3)の祖母

エイシンヒカリ 2011 芦	ディーブインパクト	*サンデーサイレンス
	*キャタリナ	*ウインドインハーヘア
*エイシンカラット 2012 黒鹿	Tale of Ekati	Storm Cat
	Ellie's Moment	Carolina Saga
		Tale of the Cat
		Silence Beauty
		Kris S.
		Kelley's Day

サンデーサイレンス S3×M4, Storm Cat S3×M4, Hail to Reason S5×M5

Brood Mare Sire

母の父

BMSテイル オブ エカティ Tale of Ekati は米国産, 北米5勝, ウッド メモリアル S-G1, シガー マイルH-G1, フューチュリティS-G2, ジェロームH-G2。主な産駒:**ガーヴィン** (ハスキル招待S-G1), **エカティス フェイトン** (ダヴォナ デイルS-G2), **ヴァーヴズ テイル** (カムリーS-G3), **テイル オブ ヴァーヴ** (ブリークネスS-G12着), **ブリッブス バイ** (エイト ベルズS-G22着)

本馬のポイント

祖母Ellie's Momentはブライアンズタイムの半妹にあたる良血馬です。母系を辿るとバリバリの米国血統なのは確かですが、祖母の産駒には芝10ハロンで行われるベルモントオークスSで2着に入ったTime and Motionもいて、決してダート路線だけということはありません。サンデーサイレンス系特有の豊かなバネの存在を感じさせるしなやかな筋肉が目立ちます。トモの踏み込みが深く、常歩もキビキビして活力がみなぎっていて、本馬は芝の短距離からマイルあたりを主戦場に、スピード勝負で高みを目指すことでしょう。